

コメ



東川町 JAひがしかわ

『世界に誇る東川米ブランドへ』

【主な品目】

コメ

【主な輸出先国・地域】

ロシア、台湾、中国

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 地域独自の品質管理を行うことで、品種ではなく東川産の米「東川米」をブランド化。
- ◆ 外食チェーンへの売込みのほか、東川米を用いた料理教室を企画し魅力を伝えるなど、現地ファンを獲得する取り組みを行う。

【輸出実績】 (平成29年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和元年度	370	20.0	通年
令和2年度	770	43.4	
令和3年度	3,524	209.6	

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- ロシアでは、東川米と現地食材(サーモン・イクラ・チーズ等)を混ぜ合わせたロシア版おにぎり「ひがしかわボール」をメニュー化させ、調理実演・試食会を多数開催。現地大学で開催した試食会のアンケート調査では、「美味しかった」の回答が100%となり、最終的には地元レストラン(居酒屋)で商品化に至り、海外需要の拡大が見込まれる。
- 輸出費用の削減に向け、輸入者との直接取引を組み立てることでコストを約3割(委託費対比)低減させることに成功した。

【今後の課題・展望】

- 複数年契約締結とブランド確立に向け高品質米の周年安定供給。
- 新規輸出国の調査・販売開始に向けた取組。
- ニーズに沿った商品開発。
- 輸出量1,000トン以上を目標とする。

【ウェブサイト】 <http://ja-higashikawa.or.jp/>

【連絡先】 担当者名: 営農販売部米穀課 係長 山下裕輝(電話0166-82-2122)



極東連邦総合大学(ウラジオストク) 学生による「ひがしかわボール」試食会 (令和元年12月20日)



“ロシア版おにぎり”
ひがしかわボール
※東川米とロシア食材を合わせた商品



在モスクワ日本大使館で行われた 「天皇誕生日レセプションパーティ」 約800人に「ひがしかわボール」を提供 (令和2年2月13日)